

シネマ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

Ciné-là

6

No.94

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。

特別企画

松本清張映画特集

福岡県出身の人気作家・
松本清張原作の映画特集。

「霧の旗」

上映作品

張込み／点と線／黒い画集 あるサラリーマンの証言／砂の器／
ゼロの焦点／球形の荒野／霧の旗／疑惑／天城越え／迷走地図

特別企画

イメージフォーラム・フェスティバル 2004

日本最大の実験映画のコンペティションであるイメージフォーラム・フェスティバル。

全国から公募された479作品から、優秀作品を選出。映像作家の新作と併せて映像の“今”を紹介する。

上映プログラム

A～D:日本新作＋一般公募作品 E:五島一浩作品集
F:エストニア・アニメーション
G:ポイント・オブ・ビュー 映像のアンソロジー
H:アジア・エクストリーム I:ハルン・ファルッキ作品集
J:演技する都市:ロサンゼルス
K:トランスメディアール・ビデオ・セレクション
L:クリティカル・スクラッチ M:九州特別プログラム

五島一浩作品集



「リトル・リリー」

イメージフォーラム・フェスティバル 2004

日本最大の実験映画のコンペティションであるイメージフォーラム・フェスティバル。
全国から公募された479作品から、優秀作品を選出。
映像作家の新作と併せて映像の“今”を紹介する。

主 催: イメージフォーラム・フェスティバル実行委員会/福岡市総合図書館/イメージフォーラム
横浜美術館/愛知県文化情報センター

協 賛: 松下電器産業株式会社/株式会社リビング・デザインセンター

助 成: プリティッシュ・カウンシル/大和日英基金/独立行政法人 国際交流基金

後 援: 京都ドイツ文化センター

協 力: コダック株式会社/ヴァージン・アトランティック航空
ヒルサイドテラス/VOW OFFICE/株式会社ダゲレオ出版

支 援: 文化庁

会 期: 6月2日(水)~6日(日)

観覧料: 1,100円(当日1回券) 800円(前売り1回券)
2,100円(4回券) 4,500円(フリーパス券)

※高齢者及び障害者割引なし。
※定員制・各回入替制。
※前売り券は
ローソン・チケット(TEL:0570-000-403)及び
チケットぴあ(TEL:0570-02-9999)で販売中。
※チケットは一人用です。複数名ではご使用できません。



「TEXTISM」

6月2日(水)

14:00 Program K トランスメディアール・ビデオ・セレクション

「ごあいさつ」
2003年/ビデオ/11分/ドイツ/
ニコラス・ゴルトバハ
「ペーダシティ」
2003年/ビデオ/17分/ドイツ/
セバスティアン・リュットゲルト
「姉妹と庭で」
2003年/ビデオ/6分/ドイツ/
イザベル・ファイン・ティナ・コールマン・ティナ・ショット
「空虚な郊外」
2004年/ビデオ/12分/ドイツ/トーマス・ケーナー
「1.1エーカーのフラット・スクリーン」
2003年/ビデオ/26分/ドイツ・アメリカ
eチーム(フランス・イラン・ドイツ・イタリア・モロッコ)

16:30 Program D 日本新作
一般公募作品

「九十九里浜の女」
2003年/8ミリ/10分/岩澤実穂
一般公募部門奨励賞
「生態系-13-本影鍾」
2003年/ビデオ/16分/小池照男
「De-Sign(脱記号)15(8月8日-12月27日)」
2004年/ビデオ/10分
ビジュアル・ブレインズ(風間正士・大津はつな)
「考える練習」
2003年/ビデオ/6分/野上寿純実
一般公募部門奨励賞
「small LAND JAZZ」
2002年/ビデオ/5分/佐藤義尚
「極私的に臨界2003」
2004年/ビデオ/35分/鈴木志郎康

19:00 Program F エストニア・アニメーション

「パースディ」
1994年/ビデオ/10分/ヤン・ボルドマ
「ホテルE」
1990年/ビデオ/28分/ブリー・バルン
「カプチーノ」
1996年/ビデオ/5分/ウロ・ピッコフ
「涅槃への道」
2000年/ビデオ/13分/マイト・ラース
「リトル・リリー」
1995年/ビデオ/16分/マティ・キュット
「ヴェイツェンベルグ・ストリート」
2002年/ビデオ/12分/カスバル・ヤンシス



「リトル・リリー」

6月3日(木)

14:00 Program C 日本新作
一般公募作品

「Berlin im Winter」
2003年/16ミリ/7分/末岡一郎
「T:O:U:C:H::O:F::E:V:I:L」
2003年/ビデオ/5分/末岡一郎
「二層の葛」
2004年/ビデオ/7分/清家美佳
一般公募部門入選
「SNAIL DANCE」
2004年/16ミリ/10分/太田曜
「椅子とスクリーン」
2002年/ビデオ/8分/石田尚志
「どこかの誰か」
2003年/ビデオ/22分
川部良太、風澤勇介、藤野史/一般公募部門入選
「酔中日記」
2004年/ビデオ/15分/かわなかのぶひろ

16:30 Program J

「演技する都市:ロサンゼルス」
2003年/ビデオ/169分/トム・アンダーセン

6月4日(金)

14:00 Program I ハルン・ファルッキ
作品集

「囚人を見ているのかと思った」
2000年/ビデオ/25分/ハルン・ファルッキ
「遠くの戦争」
2003年/ビデオ/54分/ハルン・ファルッキ

16:30 Program M 九州特別
プログラム

「深山」
2003年/8ミリ/34分/佐竹和典
「すめる部屋」
2004年/ビデオ/2分/曾我樹理
「HYPOCRITICAL A SIGHT」
2004年/ビデオ/4分/花野孝史
「The Sunrise on New Years Day」
2004年/ビデオ/9分/石橋渉
「マチコのかたち」
2004年/ビデオ/30分/白川幸司

19:00 Program E 五島一浩作品集
(五島監督来場予定)

「snap」
1990年/8ミリ/3分/五島一浩
「a dreamscape」
1993年/ビデオ/5分/五島一浩
「wordprocess」
1994年/ビデオ/5分/五島一浩
「FADE into WHITE」
1996年/ビデオ/5分/五島一浩
「FADE into WHITE#2」
2000年/ビデオ/11分/五島一浩

「FADE into WHITE#3」

2001年/ビデオ/14分/五島一浩

「FADE into WHITE#4」

2003年/ビデオ/20分/五島一浩

「z reactor」

2004年/ビデオ/11分/五島一浩



6月5日(土)

11:00 Program B 日本新作
一般公募作品

「Elements / Elephants」
2004年/8ミリ/10分/万城目純
「ひととき-2002年5月15日-」
2003年/ビデオ/3分/佐竹真紀/一般公募部門奨励賞
「光の庭」
2004年/16ミリ/20分/宮崎淳
「スクリプティング・ゴースト」
2004年/ビデオ/12分/倉重哲二
「monotone」
2003年/ビデオ/22分/水野勝規/
一般公募部門審査員特別賞
「夢10夜」
2004年/16ミリ/8分/田名網敬一・相原信洋

13:30 Program F エストニア・アニメーション

「パースディ」
1994年/ビデオ/10分/ヤン・ボルドマ
「ホテルE」
1990年/ビデオ/28分/ブリー・バルン
「カプチーノ」
1996年/ビデオ/5分/ウロ・ピッコフ
「涅槃への道」
2000年/ビデオ/13分/マイト・ラース
「リトル・リリー」
1995年/ビデオ/16分/マティ・キュット
「ヴェイツェンベルグ・ストリート」
2002年/ビデオ/12分/カスバル・ヤンシス

16:00 Program H アジアン・エクストリーム

「光と階級」
2004年/ビデオ/28分/韓国/キム・ゴク・キム・ソン
「ひらめく赤旗」
2002年/ビデオ/35分/中国/ツォー・ホンシャン
「凌遅考:古い写真からの数シーン」
2002年/ビデオ/25分/台湾/チェン・チュージェン

6月6日(日)

11:00 Program L クリティカル・スクラッチ

「ステイト・オブ・ユニオン」
2001年/ビデオ/2分/ブライアン・ボイス
「ベトナム・ロマンス」
2003年/ビデオ/21分/エンド・スターン
「アリスの不思議な世界あるいはギョー・ドゥ・ボールって誰?」
2003年/ビデオ/23分/ロバート・カーブル
「ディー・ブルー」
2003年/ビデオ/8分/マーク・ボスウェル
「終わらないう戦争のシーンより(2001-2002)」
2002年/ビデオ/32分/ノーマン・カーウィー
「私のお気に入り」
2003年/ビデオ/3分/ボブ・パリス

13:30 Program A 日本新作
一般公募作品

「OMEGA HERO ME」
2004年/16ミリ/11分/奥山順市
「墨華譚」
2003年/16ミリ/10分/鬼束健太郎/一般公募部門入選
「VIRTUAL ROLLING」
2003年/ビデオ/3分/中西義久
「体積熱」
2004年/16ミリ/22分/黒川芳朱
「公園に来る人々」
2004年/ビデオ/12分/中島崇
「MEMORY OF RED」
2004年/16ミリ/7分/相原信洋
「あわのの」
2003年/8ミリ/3分/上原美穂/一般公募部門入選
「TEXTISM」
2003年/ビデオ/11分/平林勇/一般公募部門大賞

16:00 Program G ポイント・オブ・ビュー
映像のアンロジ

「ガイジン」
2003年/ビデオ/5分/フランス・アリス
「そのとき」
2003年/ビデオ/3分/ダーヴィット・クラボウト
「私の肩越しに」
2003年/ビデオ/14分/ダグラス・ゴードン
「ブラインド・スポット」
2003年/ビデオ/13分/ゲイリー・ヒル
「0.5」
2003年/ビデオ/5分/ビエール・ユイグ
「ワルツ」
2003年/ビデオ/7分/ジョーン・ジョナス
「アンコール(帰ってきたパラダイス・オメロス)」
2003年/ビデオ/5分/アイザック・ジュリアン
「自動筆記」
2003年/ビデオ/3分/ウィリアム・ケントリッジ
「WGG(イカれた女たち)」
2003年/ビデオ/6分/ポール・マッカーシー
「あなたが見るように私もみたい」
2003年/ビデオ/5分/ビビロディ・リスト
「タイム・アフター・タイム」
2003年/ビデオ/6分/アンリ・サラ

松本清張映画特集

福岡県出身の人気作家・
松本清張原作の映画特集。

「点と線」や「ゼロの焦点」などで注目を集めるようになった松本清張は、1960年代以降は実際の事件や社会問題などに焦点をあてた「社会派」作品を数多く手掛け、ベストセラー作家となった。それだけに早くから映画化された作品も多く、なかでも名作「砂の器」等を手掛けた松本清張原作、野村芳太郎監督、橋本忍脚本という組み合わせによる作品はいずれも評価が高い。1970年代には自ら映画プロダクション「霧プロ」を設立し、自身の原作の映画化を行うなど戦後、映画にもっとも積極的に関わった文学者でもある。

会 期:6月9日(水)~6月20日(日) ※休館日・休映日除く
観覧料:600円(大人) 500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方及び福岡市在住の65以上の方は300円。
(手帳の提示が必要です。)

張込み

6月9日(水) 14:00 6月20日(日) 11:00

1957年/35ミリ/モノクロ/116分/松竹
監督:野村芳太郎/原作:松本清張/脚本:橋本忍/出演:高峰秀子、田村高廣

逃亡中のピストル強盗犯の一人を追って二人の刑事が、犯人の元恋人で今は銀行員と結婚している佐賀の女性を張り込む。細かいディテールの積み重ねとドキュメンタリータッチの演出の中に終始緊張感をみなぎらした社会派サスペンス映画の傑作。この作品の成功で野村芳太郎は監督として注目を集めるようになる。



点と線

6月10日(木) 14:00 6月19日(土) 17:00

1958年/35ミリ/モノクロ/85分/東映
監督:小林恒夫/原作:松本清張/脚本:井手雅人/出演:南廣、山形勲、高峰三枝子

あまりにも有名な松本清張の同名の原作を小林恒夫が演出した推理映画。北海道にいたはずの男が、福岡で殺人を犯すことができるだろうか。日本の北と南を結ぶ点と線を推理し、ついにそのアリバイ作りのトリックを発見する。「波止場がらす」の新人南廣に、山形勲・高峰三枝子・志村喬らのベテランが顔を揃える。



黒い画集 あるサラリーマンの証言

6月10日(木) 19:00 6月19日(土) 14:00

1960年/35ミリ/モノクロ/95分/東宝
監督:堀川弘通/原作:松本清張/脚本:橋本忍/出演:小林桂樹、原知佐子、平田昭彦

松本清張の原作を橋本忍脚色、堀川弘通監督で映画化した社会派推理映画の秀作。某社の課長・石野は、部下の女性との情事の帰り道に知人・杉山に会う。数日後杉山は、殺人事件の容疑者になり、アリバイ立証のために石野に証言を求めるが、石野は自分の地位や家庭を守るために証言を拒否する。杉山は逮捕され……。



砂の器

6月11日(金) 14:00 6月20日(日) 14:00

1974年/35ミリ/カラー/143分/松竹=橋本プロ/監督:野村芳太郎/原作:松本清張/脚本:本:橋本忍、山田洋次/出演:丹波哲郎、加藤剛

日本映画史を代表する名作の一つ。迷宮入りかと思われた殺人事件の捜査に執念を燃やす刑事と、犯人の動機のために書き下ろした交響曲「宿命」の音楽に、日本の四季折々を捉えた美しい映像が相まってたぐいまれな感動を生んでいる。



ゼロの焦点

6月11日(金) 19:00 6月19日(土) 11:00

1961年/35ミリ/モノクロ/95分/松竹
監督:野村芳太郎/原作:松本清張/脚本:橋本忍、山田洋次/出演:久我美子、高千穂ひづる

初期の松本清張の代表作を「張込み」と同じく脚本・橋本忍、監督野村芳太郎で映画化。社用で金沢に行った夫が予定を過ぎても帰って来なかった。現役広告マンである夫の死体が発見され、妻はその死に不審を抱き、単独で捜査に乗り出す。過去と現在を縦横に交錯させた構成の中から、人間の悲しみが浮かび上がっていく。



球形の荒野

6月12日(土) 11:00 6月18日(金) 19:00

1975年/35ミリ/カラー/99分/松竹
監督:貞永方久/原作:松本清張/脚本:星川清司/出演:島田陽子、竹脇無我

第二次世界大戦末期、祖国を救うため妻子を捨てて連合軍側と極秘に和平交渉を進め、表向きは任地で死んだと当時の公電によって伝えられていた父。その父と娘との再会までの過程を揺れ動く心情をミステリアスに描きながら、その姿を通して戦争告発に迫った社会派サスペンス。松本清張の原作を忠実に映像化。



霧の旗

6月12日(土) 14:00 6月18日(金) 14:00

1977年/35ミリ/カラー/95分/ホリ企画
制作/監督:西河克己/原作:松本清張/脚本:服部佳/出演:山口百恵、三浦友和

山口百恵=三浦友和コンビの第六作。桐子が啓一と初めて出逢ったのは東京の法律事務所の中であった。松本清張原作の再映画化で、百恵の役は獄中で死んだ兄の復讐のため、三國連太郎扮する弁護士に近づくと、陰ある女。百恵のキャラクターと役のイメージが重なり、演技的にも高く評価された作品。



疑惑

6月12日(土) 17:00 6月17日(木) 19:00

1982年/35ミリ/カラー/126分/松竹=霧プロ/監督:野村芳太郎/原作:脚本:松本清張/出演:桃井かおり、岩下志麻、小沢栄太郎

死者に3億円の保険金がかけられていたという実際の事件にヒントを得た、松本清張の同名小説の映画化。車が海中に転落、乗っていた地元の財閥である夫は死亡したが、後妻の妻はかすり傷ひとつ負わなかった。自身が脚色を施し、容疑者も弁護士も女性に変えて、女同士の感情の葛藤という要素を付加している。



天城越え

6月13日(日) 11:00 6月17日(木) 14:00

1983年/35ミリ/カラー/99分/松竹=霧プロ/監督:脚本:三村晴彦/原作:松本清張/出演:田中裕子、渡瀬恒彦、平幹二朗

何十年も昔に起こった殺人事件に疑問を持った刑事が、当時少年だった関係者に会いに出かける。男の口から語られた意外な真相とは、遠い日、天城の峠ですれ違った裸足の女、彼女によせたほのかな憧れ、そして……。松竹期待の大型新人監督・三村晴彦が松本清張の原作を師とおく加藤泰と共同脚色して撮り上げた会心の処女作。



迷走地図

6月13日(日) 14:00 6月16日(水) 14:00

1983年/35ミリ/カラー/136分/松竹=霧プロ/監督:野村芳太郎/原作:松本清張
脚本:古田求/出演:勝新太郎、岩下志麻

改進黨第2派閥の寺西は、現首相桂から政権の禪譲を受け、首相の座に就くであろうこと衆目の一致するところであった。彼を支えてきた妻、それに4年来の私設秘書を主人公に、保守党政権をどの派閥が握るか、裏側に潜む個人的なスキャンダルや金銭の授受、さらに殺人事件まで絡めて描いた社会派サスペンス・ドラマ。助演陣が好演。



6月上映スケジュール

Schedule

1	火	休館日
2	水	14:00 プログラムK 18:30 プログラムD 19:00 プログラムF
3	木	14:00 プログラムC 18:30 プログラムJ
4	金	14:00 プログラムI 18:30 プログラムM 19:00 プログラムE
5	土	11:00 プログラムB 13:30 プログラムF 16:00 プログラムH
6	日	11:00 プログラムL 13:30 プログラムA 16:00 プログラムG
7	月	休館日
8	火	休映日
9	水	14:00 張込み
10	木	14:00 点と線 19:00 黒い画集 あるサラリーマンの証言
11	金	14:00 砂の器 19:00 ゼロの焦点
12	土	11:00 球形の荒野 14:00 霧の旗 17:00 疑惑
13	日	11:00 天城越え 14:00 迷走地図
14	月	休館日
15	火	休映日
16	水	14:00 迷走地図
17	木	14:00 天城越え 19:00 疑惑
18	金	14:00 霧の旗 19:00 球形の荒野
19	土	11:00 ゼロの焦点 14:00 黒い画集 あるサラリーマンの証言 17:00 点と線
20	日	11:00 張込み 14:00 砂の器
21	月	休館日
22	火	休映日
23	水	休映日
24	木	休映日
25	金	休映日
26	土	休映日
27	日	自主上映【第8回 美空ひばり チャリティ懐かしの映画会】
28	月	休館日
29	火	休映日
30	水	休館日

松本清張映画特集



イメージフォーラム・フェスティバル 2004

18回目を迎える今年のイメージフォーラム・フェスティバルは、例年以上に日本国内の作品と海外の作品とのカラーがはっきり分かれています。

国内の招待作品、一般公募の入賞作品は内面的な美を追求したアニメーション表現が多く出品されています。特に、日本の20代、30代の作家には、子供時代からTVゲームや商業アニメなどで「アニメーション特有の気持ちのよい動き」の刷り込みがあり、映画に影響を受けて作られた作品とは少し違う動画の感覚を持ち合わせています。その感覚は海外の観客にもダイレクトに伝わり、実際に沢山の作品が外国の映画祭でも上映されています。

今回Eプログラムで個展を行い、来福が実現した五島一浩もその代表的な作家の一人といえます。代表作「FADE into WHITE」シリーズを中心に、いわゆるジャパニメーションとはひと味違う美意識をもった世界に触れて下さい。上映後には作家自身のトークもあります。昨年の一般公募部門で審査員特別賞を受賞した倉重哲二は、『スクリプティング・ゴースト』で、手描きと3DCGを絶妙に組み合わせた新作を発表します。また、石田尚志は抽象アニメをインスタレーションで発表しています。（『生成するエクリンのために』）

海外の作品は、デジタルビデオとコンピュータによるフットワークの軽さを生かした個人の視点が数多く見られます。Lプログラムでは、画

一的なマスコミの映像を言葉で批判するのではなく、批判の対象である映像それ自体を取り込み、コラージュして皮肉なユーモアを突き付けます。Hプログラムは韓国、中国、台湾から出品された身体表現をフルに生かしたエネルギーギッシュなビデオ作品です。Gプログラム「ポイント・オブ・ビュー」は映像を扱う代表的な美術家11人の新作を一挙に上映します。

他にも、九州地区の映像作家の特集プログラムや、エストニアのアニメーションの特集プログラムなど、多彩な作品が上映されます。現代の映像アートを扱う作家は、実に様々な興味や問題を提示し、作品を目にする方々に沢山の関心の窓を用意しています。見知らぬ作家の手による「自分だけのお気に入り」をいち早く見つけること、これも映画祭の楽しみの一つといえるでしょう。

イメージフォーラム 澤隆志



「自動筆記」

インフォメーション

■6月からビデオテープの貸出を開始します

6月からCDやカセットブックは1人2点まで、ビデオテープについては1点の館外貸出を行います。貸出期間は2週間です。館内に展示してある空ケースに「貸出カード」を添えて、ビデオライブラリー受付カウンターへお持ちください。ご利用をお待ちしております。

■シネラニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成16年7月号～平成17年4・5月号までの郵便切手（90円×10ヶ月）を同封の上、下記宛先へお申送ください。

■宛先：〒814-0001福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館 映像資料課

■映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラで自主上映（非営利に限る）を希望される方は、下記のとおり利用申し込みの受付を行いますのでお申込みください。

■利用申込対象期間：平成16年12月～平成17年5月まで

■別途配布の申し込み用紙に対象日を掲載しています。

■申込受付期間：平成16年5月20日（木）～平成16年6月10日（木）まで

※休館日を除く

■抽選日：平成16年6月13日（日）午前11時より

■抽選会場：福岡市総合図書館・3階第2応接室

■利用申込用紙：福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をお出しく下さい。

■自主上映のお知らせ

■6月27日（日）第8回 美空ひばり チャリティ懐かしの映画会

●娘の中の娘【10:30】【14:00】●大江戸喧嘩纏【12:05】【15:35】

観覧料／前売：1,300円 当日：1,500円

主 催／美空ひばり後援会（TEL093-293-2415 牛島弘子 午後8時以降）

*自主上映の詳細については、直接主催者にお問い合わせ下さい。



いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター（電話：733-3333）に直接お問い合わせください。

公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力をいただきますようお願いいたします。

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄：西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス：天神～都市高速経由～福岡タワー南口（所要時間：昼間約20分）

博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口（所要時間：昼間約25分）

福岡タワー南口バス停から徒歩3分

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館（代表）092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609
福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

デザイン／株式会社 ホワイトスペース 印刷／株式会社 九州カスタム印刷

280 古紙配合率80%再生紙を使用しています。